

公開シンポジウム

人文社会科学系の大学教育を吟味する ～分野別習得度の調査結果に基づいて～

大学教育のアウトカムに関心が高まっているが、専門分野別の教育内容・方法および習得度に関して、多くの大学を貫く形で検討する試みは、まだ非常に少ない。本研究プロジェクトでは、日本学術会議が作成した専門分野別の「参照基準」から作成した項目を用いて、大学在学時から卒業後にかけて追跡調査を実施することにより、人文社会科学系10分野の大学教育のアウトカムを吟味することを目的としている。この公開シンポジウムでは、現時点で得られているデータの分析結果を中間報告し、議論に一石を投じたい。

日時

2021年

9月15日(水)

18:00-20:30

会場

オンライン開催(Zoom Webinar)

お申し込み

QRコードまたは下記URLよりお申し込みください
<https://forms.gle/TQsuyq9SqTm5mF3D6>



プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 18:00-18:20 | 開会挨拶 調査の背景・目的・概要
本田由紀(東京大学大学院教育学研究科 教授) |
| 18:20-18:40 | 調査項目の作成プロセス
香川めい(大東文化大学社会学部 准教授) |
| 18:40-19:00 | 専門分野別習得度と関連する大学教育は何か
小山治(京都産業大学全学共通教育センター 准教授) |
| 19:00-19:20 | 「仕事・地域と関連する大学教育」の功罪
二宮祐(群馬大学学術研究院 准教授) |
| 19:20-19:40 | コメント
松下佳代(京都大学大学院教育学研究科高等教育研究開発推進センター 教授)
福留東土(東京大学大学院教育学研究科学校教育高度化・効果検証センター 教授) |
| 19:40-20:30 | 総括討論 |

調査に対する協賛:日本学術会議第一部

共催:東京大学大学院教育学研究科附属学校教育高度化・効果検証センター

本シンポジウムに関するお問い合わせ:univ_outcome@p.u-tokyo.ac.jp

日本学術振興会科学研究費補助金 プロジェクト名「大学教育の分野別内容・方法とその職業的アウトカムに関する実証研究」(種目:基盤研究(A)(一般)、2018-2022年度、課題番号:18H03657、研究代表者:本田由紀)

